

日本映画史 II

科目ナンバリング JLT-106
選択 2単位

筒井 清忠

1. 授業の概要(ねらい)

春期に続き時代劇を中心に日本映画の歴史を学びます。リュミエール兄弟のシネマトグラフ発明から比較的早い時期に日本では京都に映画が上陸、日本固有のジャンルである時代劇を一つの軸としてそれは発達しました。そして、映画全盛期の間、それは極めて多く作られました。したがって時代劇の歴史を学ぶことは日本映画の歴史を学ぶことになります。授業は学生のレポートと質問に答える形になります。レポートを提出し積極的に質問してください。

2. 授業の到達目標

日本映画の歴史についての基礎的知識を習得し、その上で日本映画の歴史について他者に説明できます。日本映画を通して日本文化の継承と発展についての専門的知識を習得しています。日本文化に関する専門的知識を多方面に応用することができます。

3. 成績評価の方法および基準

毎回レポートを提出してください。
このレポート内容を重視します。
提出されたレポートの内容については毎回授業内で説明を実施します。

4. 教科書・参考文献

教科書
なし

5. 準備学修の内容

採り上げる映画の監督・原作者・脚本家等スタッフのほかの作品にも接して理解を深めレポートをまとめておいてください。この予習が不十分であると授業内容の理解が難しくなります。

6. その他履修上の注意事項

出席は当然ですが、毎回予習とレポートの提出を欠かさないでください。
欠席等は大学の規定に従います。
1回分の授業をオンラインで行います。授業中に指示しますから必ずそれに従って受講してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 大映時代劇4-市川雷蔵
- 【第2回】 大映時代劇5-勝新太郎
- 【第3回】 東映時代劇1-内田吐夢『大菩薩峠』
- 【第4回】 東映時代劇2-内田吐夢『宮本武蔵』
- 【第5回】 東映時代劇3-マキノ雅広
- 【第6回】 東映時代劇4-沢島忠
- 【第7回】 東映時代劇5-中村錦之助
- 【第8回】 東映時代劇6-任侠映画の世界
- 【第9回】 幕末維新映画1-倒幕派映画の系譜
- 【第10回】 幕末維新映画2-佐幕派映画の系譜
- 【第11回】 時代劇のジャンル1-武士
- 【第12回】 時代劇のジャンル2-浪人・「下郎」
- 【第13回】 時代劇のジャンル3-庶民
- 【第14回】 時代劇の特質
- 【第15回】 時代劇の危機